

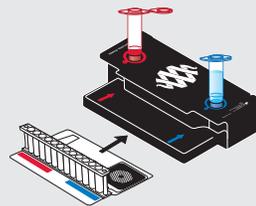
FilmArray消化管パネルクイックガイド

FilmArray® Gastrointestinal Panel

汚染防止のため、常時手袋を着用し、保護シールドを取り付けて作業してください。

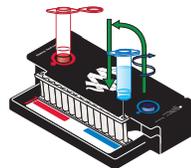
ステップ1：パウチの準備

- Pouch Loading Station (パウチローディングステーション) にパウチを挿入します。
- サンプルインジェクションバイアル (Sample Injection Vial) を赤いウェルに配置します。
- 水和溶液バイアル (Hydration Injection Blue) を青いウェルに配置します。



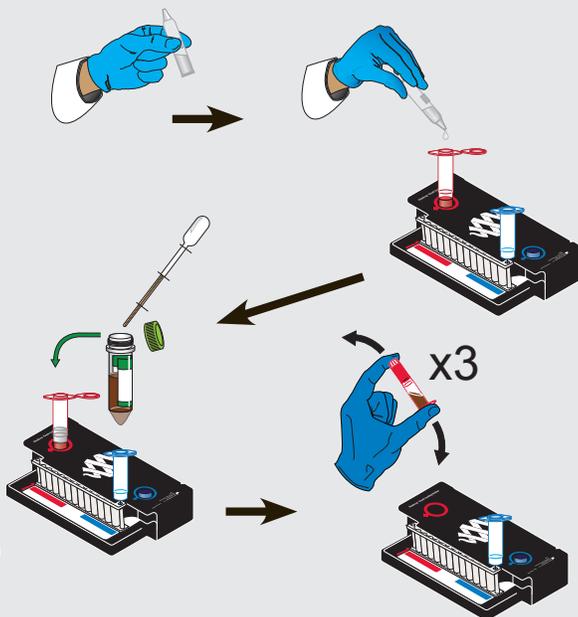
ステップ2：パウチの水和

- 水和溶液バイアル (Hydration Injection Blue) を回して外し、キャップをPouch Loading Station (パウチローディングステーション) に残したまま、パウチ水和ポートに差し込みます。
- シールに穴が開くまで力を入れて押し込みます。
- Hydration Solution (水和溶液) がパウチに吸引される間、待機します。



ステップ3：サンプル混合液の準備

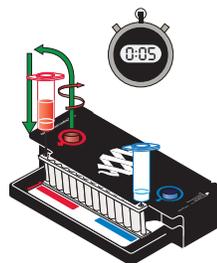
- 次の手順でサンプルバッファー (Sample Buffer) をサンプルインジェクションバイアル (Sample Injection Vial) に注入します。
 - サンプルバッファー (Sample Buffer) アンブルを逆さまにして、先端を上向きにします。
 - 注：アンブルの先端に触れないでください。
 - アンブルの側面のざらざらしたプラスチックタブを、シールが破れるまで強くつまみます。
 - 先端を下向きにして、サンプルバッファー (Sample Buffer) をサンプルインジェクションバイアル (Sample Injection Vial) に注入します。最初にゆっくりと強く押し出した後、もう一度押し出します。極力気泡が生じないようにします。
- 糞便検体をよく混ぜます。
- トランスファーピペットを使用し、2本目のラインまで吸引します。
- このサンプルをサンプルインジェクションバイアル (Sample Injection Vial) に注入します。
- サンプルインジェクションバイアル (Sample Injection Vial) の蓋をしっかりと閉めます。
- サンプルインジェクションバイアル (Sample Injection Vial) をゆっくりと3回転倒混和してサンプルを混ぜ合わせます。
- サンプルインジェクションバイアル (Sample Injection Vial) をPouch Loading Station (パウチローディングステーション) の赤いウェルに戻します。



警告：サンプルバッファー (Sample Buffer) は飲み込むと有害であり、重篤な眼損傷又は皮膚刺激を引き起こすおそれがあります。

ステップ4：サンプル混合液のロード

- サンプルインジェクションバイアル (Sample Injection Vial) を回してキャップから外します。
- 3~5秒間待機した後、キャップをPouch Loading Station (パウチローディングステーション) に残したまま、サンプルインジェクションバイアル (Sample Injection Vial) を取り出します。
- サンプルインジェクションバイアル (Sample Injection Vial) をパウチサンプルポートに差し込みます。
- シールに穴が開くまで力を入れて押し込みます。
- サンプル混合液がパウチに吸引される間、待機します。



ステップ5：パウチの測定

- 検査の開始に関するコンピュータ上の指示に従います。

FilmArray消化管パネルクイックガイド

FilmArray® Gastrointestinal Panel



Run Summary (測定サマリー) セクション では、サンプルに関する情報のほか、コントロールや検査結果の概要を確認できます。

1. Detected (検出) :
 - 検出された病原体の名前
 - 「None (なし)」の場合は、病原体が検出されませんでした。
 - 「▲Invalid (無効)」の場合は、サンプルを再検査します。
2. Controls (コントロール) :
 - 「Passed (合格)」の場合は、結果が有効です。
 - 「▲Failed (失敗)」の場合は、サンプルを再検査します。
 - 「▲Invalid (無効)」の場合は、サンプルを再検査します。

Run Summary	
Sample ID: 例	Run Date: 27 Sep 2013 12:03 PM
1. Detected: Clostridium difficile toxin A/B	2. Controls: Passed

Results Summary (結果サマリー) セクションには、FilmArray消化管パネルが検出対象とする各病原体の検査結果が一覧表示されます。

3. 「✓ Detected (検出)」の場合は、病原体が検出されました。
4. 「Not Detected (非検出)」の場合は、病原体が検出されませんでした。
5. 「∅ N/A (非該当)」の場合は、病原体について報告されませんでした。詳細については、取扱説明書を参照してください。

「▲Invalid (無効)」の場合は、サンプルを再検査します。

注：結果に「Invalid (無効)」が繰り返し表示される場合は、製造販売元にお問い合わせください。

Result Summary	
Bacteria	
Not Detected	Campylobacter
✓ Detected	Clostridium difficile toxin A/B
Not Detected	Plesiomonas shigelloides
Not Detected	Salmonella
Not Detected	Vibrio
Not Detected	Vibrio cholerae
Not Detected	Yersinia enterocolitica
Diarrheagenic E. coli/Shigella	
Not Detected	Enteropathogenic E. coli (EPEC)
Not Detected	Enterotoxigenic E. coli (ETEC) lt/st
Not Detected	Shiga-like toxin-producing E. coli (STEC) stx1/stx2
∅ N/A	E. coli O157
Not Detected	Shigella/Enteroinvasive E. coli (EIEC)
Parasites	
Not Detected	Cryptosporidium
Not Detected	Cyclospora cayentanensis
Not Detected	Entamoeba histolytica
Not Detected	Giardia lamblia
Viruses	
Not Detected	Adenovirus F 40/41
Not Detected	Astrovirus
Not Detected	Norovirus GI/GII
Not Detected	Rotavirus A
Not Detected	Sapovirus

Run Details (測定の詳細) セクションには、パウチ、装置、測定ステータス、オペレータに関する情報が表示されます。

6. Run Status (測定ステータス) : 「Completed (完了)」の場合は、測定が完了しました。「Incomplete (未完了)」、「Aborted (中止)」、「Instrument Communication Error (装置通信エラー)」、「Instrument Error (装置エラー)」、または「Software Error (ソフトウェアエラー)」の場合は、サンプルを再検査します。

Run Details	
Pouch: GI Panel	Protocol: Stool FA v2.3
Run Status: Completed	Operator: JDoe
Serial No.: 00788640	Instrument: ITI FA "FA1115"
Lot No.: 133813	

注：「Error (エラー)」に関するメッセージが繰り返し表示される場合は、製造販売元にお問い合わせください。



A BIOMÉRIEUX COMPANY

© Copyright 2017年 BioFire Diagnostics, LLC. All rights reserved.

BioFire Diagnostics, LLC | 515 Colorow Drive, Salt Lake City, Utah 84108, USA | 1-801-736-6354

RFT-FRT-0516-07